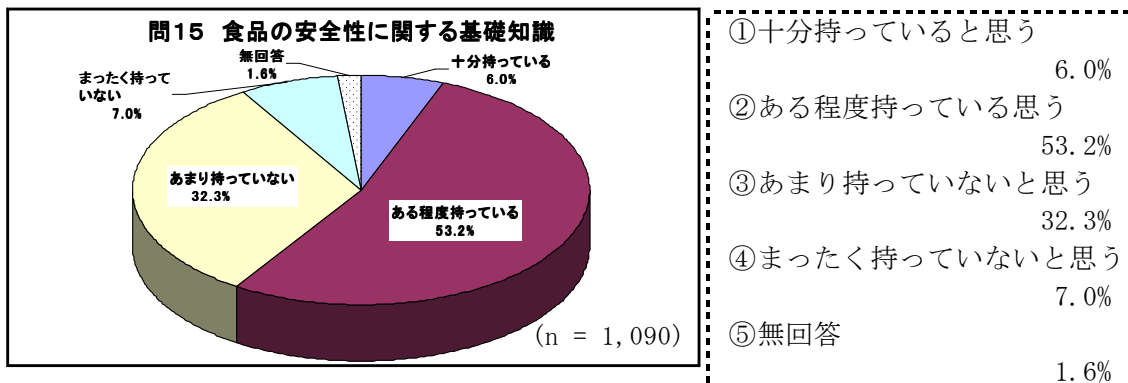


(9) 食品の安全性に関する基礎知識及び身につけたい知識

問15. 健康に悪影響を与えないようにするために、どのような食品を選んだ方が良いかや、どのような調理が必要かについての知識を持っていると思いますか？
(1つ選択)



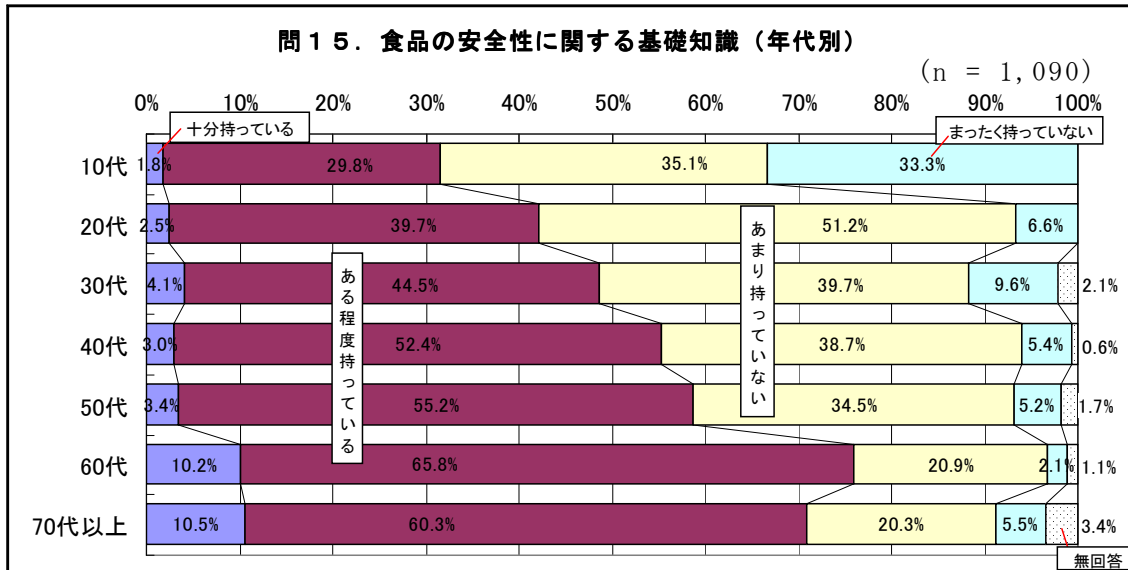
食品の適正な選択などについて『基礎知識を持っている*1』と思う』と答えた人は59.2%、『基礎知識を持っていない*2』と思う』と答えた人は39.3%となっています。

過去の調査と比較すると、『基礎知識を持っている*3』と思う』人の割合が調査ごとに低下 (H18 : 68.0%、H21 : 63.7%、H24 : 59.2%) しています。

*1 「基礎知識を持っている」 = 「十分持っていると思う」「ある程度持っていると思う」の合計

*2 「基礎知識を持っていない」 = 「あまり持っていないと思う」「まったく持っていないと思う」の合計

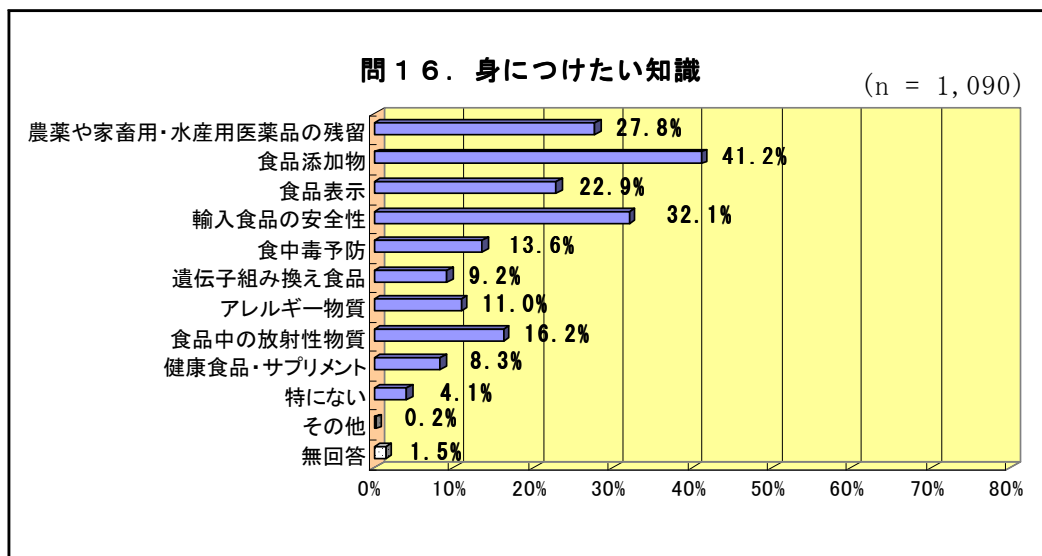
*3 H18・21の数値は、選択肢を「ある→持っている」「ない→持っていない」とした数値。



また、年代別に『「基礎知識を持っている」と思う』と答えた人の割合をみると、
10代 : 31.6% 20代 : 42.2% 30代 : 48.6% 40代 : 55.4%
50代 : 58.6% 60代 : 76.0% 70代以上 : 70.8%

となり、10代から60代までは、年代が上がるにつれ『「基礎知識を持っている」と思う』と答えた人の割合が増加しています。(上表参照)

問16. 食品の安全性に関して、今後どういった知識を身につけたいですか？
(2つ以内選択) (新規設問)



今後身につけたい知識としては、最も多いものから順に、「食品添加物」41.2%、「輸入食品の安全性」32.1%、「農業や家畜用・水産用医薬品の残留」27.8%、「食品表示」22.9%と続いています。この結果は、設問の間2から間5にありました農畜水産物・加工食品で不安を感じているものとして上位に上がっていた項目と一致しています。